

事業所名 子ども発達支援センター 穂別きらり

公表:令和5年11月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			粗大運動が集中しないように時間をずらすなど工夫する。	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	60%	40%		個室トイレに手すりを設置	玄関、非常口にスロープ、男子トイレの手すりが必要。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	60%	20%	20%	予算計上で要求している。	室温が30度を超える日が1ヶ月以上続き、集中して課題に取り組みなかった
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60%		40%		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	60%	20%		第三者委員会を設置している。苦情があったときは対応してもらえるようお願いできています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				全職員が研修を受けるようにしています。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20%	60%	20%		必要時にむかわ町心理士に検査をお願いしています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				・計画を元に支援しています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%		集団療育は、担当者が立案し他の担当者とプログラムの確認を行っている。	・活動プログラムの立案は話合っておこなうよう心掛けていきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			日誌をチェックするなどして、工夫できている。	・活動が同じ内容にならないよう心掛けて居ます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			児の課題に添って、個別活動、集団活動を組み合わせている。	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			その日のプログラム等、皆療育がスムーズに行くよう確認し合う。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			児の様子や気になる点、成長など報告し合いアドバイスを職員間で出し合う。	当日ではなく、後日になることもあるが、話合うように今後も気をつけていきたい。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			必ず記録に残し、療育、会議、計画の度に振り返り、改善につなげている。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%		保護者との懇談やケース会議等から見直しの判断をしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	40%	40%	20%		相談事業所としての担当者会議に参画していないが、必要な時に会議に参加している。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			母子保健関係は健診等で観察し、カンファレンスに参加する。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					対象児がいない。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					対象児がいない。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%				全員定期のケース会議と必要時に懇談も行う。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%				困り感なく過ごすことができるように、理解を深めてもらう。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%			在籍児はこども園と並行して利用している子のみである。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		100%		医・福・保会議に必要な時に参加し、文書で確認できている。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		100%		ペアレントトレーニングまでは出来ていないが、有効な子育ての方法を提案しながら支援している。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			定期的に話し合いをおこなっているが、必要時にはすぐ対応できるように心掛けている。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			父母の会はコロナ禍で活動も停滞せざるを得なかったが、改めて会の必要性を指摘される声も上がってきているので、支援していきたい。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			きりり通信として毎月発行。他の事業所5カ所とも通信交流もち参考とする。
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			取り扱いを厳重にするために、鍵のかかった書庫を利用する。
	㉜	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	80%		未就学児親子に対しては月2回地域開放事業を実施。ホームページ活用。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	80%	20%		マニュアルを作成し、保護者に提示する期間を設けた。	マニュアルを作成しているが、全ての訓練を実施できていないので、おこないたい。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			消防による火災避難訓練実施。	その他の訓練についてもおこないたい。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%				保護者と連絡を密に取っている。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか					対象児がいない。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			日々の療育で思いがけず失敗してしまったことを記入し、共有する。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			事業所内で必ず虐待研修をおこなう。	
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか					対象児童がいないが、身体拘束について組織で決定し、保護者の理解を得ることを考えている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。